

お杉通信  
vol.12

お杉の

# 活動報告

前藤沢市議会議員

# 杉原 えいこ

フジサワの  
お杉  
です!

FUJISAWA  
CITY

## 「道の駅」を城南に作ろう!

### 横浜湘南道路トンネル工事が進んでいます

国道1号(藤沢バイパス)を一部トンネル構造で通過し、城南一丁目にインターチェンジが設けられます!  
インターチェンジ目の前には広大な城稲荷水田が広がっています。

この地区は農業者の高齢化や後継者不足などから将来に向けた保全が課題となっています。

城稲荷水利組合に所属する農業者は約120人で、25haほどの水田で年間約100t(面積換算)の米が生産されています。市が昨年行ったアンケートでは、同地区農業者の年齢別割合は70歳以上が56%を占め、このうち85.4%の農地で後継者について「未定」「不明」と回答しています。

同地区は1反(千平方メートル)ほどの小さな区画が多く、大規模な水田に比べて収益性が低く、米を販売して得る金額よりも生産費用の方が高くなるケースもあります。離農者の増加は今以上に耕作放棄地が荒廃する懸念があります。

2022年3月高齢化や後継者不足から耕作放棄地が増加していく懸念を訴え、**地権者107人**が農業振興地域の指定解除を求める**要望を市に提出しました。**

### しかし市側の回答はNO!

土地活用の指針である「市都市マスタープラン」で優良農区域として保全に努める地域に指定されている事を理由に、指定解除はせず耕作環境の改善や担い手不足の解消に取り組む方針を示した。

### つまり地権者はもうできないと言っているのに地権者の声を市は無視

地権者がこれ以上耕作は難しいと声を出している最中、市は当地区の測量を行う新たに**12億の予算**を投じて実施すると発表!

このままでは離農者の増加により、今以上に耕作放棄地が荒廃する懸念があります。  
せっかくインターチェンジが出来るのだから、それを利用しようという知恵はないのか!?

### お杉の結論

- ① 城稲荷水田地区の指定解除を一部緩和
- ② 「耕作地」と「その他の用途」に分けた区画再整備
- ③ 城南のインターチェンジの利便性を活かした

**「道の駅」を作ろう!**

